

# 図書だより



駒羽根小学校  
令和4年12月1日

## ◇光陰矢の如し◇

2022年のカレンダーも残すところ、あと1枚となりました。12月は「師走」と言います。「師走」の語源は諸説あるようですが、「お師匠さんも走るほど忙しい季節」という意味もあるそうです。最近、図書館に走ってくる児童がいます。廊下を走るのとても危険です。ぶつかって怪我をすることもあるので、みなさんはゆっくり歩いて本を借りに来てください。時間とマナーを守って楽しく図書館を利用しよう♪



## 「50冊賞」、「300冊賞」続々達成中！

読書週間のビンゴカード大会では多くの児童がたくさんの本を読むことができました。50冊賞達成の児童もたくさん増えました。駒羽根小学校では全員が50冊賞達成を目標にしています。まだ、達成できていない児童は「読書カード」を持って、図書館にきてください。50冊賞達成の支援をします。

### ★本を楽しく読むコツ

- ①とっても簡単な本で良い。(少しでも活字に慣れることが大切です。)
- ②寝る前の10分で良い。(毎日読むことが大切です。)
- ③全部読まなくても良い。(面白いと思える部分を見つければ良いです。)

### ★お家の人へ

低学年の児童には是非、読み聞かせをしてあげてください。(子どもは親から愛されていることの喜びを感じ、読書を楽しみにします。)

「がんばれ」より、「がんばってるね」と認めるほうがいい。



## ★読書好きになるには「読書を通したメリット」を感じる事が重要です

子どもが読書をしたらたくさん褒めてあげてください。

## ★図書室からのお願い★



本は学校の大切な財産です。年末の大掃除などで学校の本が見つかった場合は捨てたりせずに図書室に届けてください。



## 3年ぶりに新春くじが復活！

お休みしていた新春くじが復活します。図書室で冬休み用の本を3冊(1年生は2冊)借りて1月10日・11日に本を返却すると一人1回くじが引けます。何が当たるかはお楽しみ(▽)♪2日間だけの限定です。



## 子どもを本嫌いにする親のNG行動&NGワード

最初から本が嫌いな子どもはいないはず。では、本が好きな子ども、嫌いな子どもの分かれ道はどこにあるのでしょうか？今回は子どもを本嫌いにしてしまう親の言動についてのお話です。

子どもを本嫌いにする親のNG行動&NGワードは主に3つ！

1. 「本を読みなさい」…読書を強制する。
2. 「もう絵本は卒業しようね」…読む本をおとなが決める。
3. 「どんなことが書いてあったの？」…完璧な理解を求める。

読書を強制されると脳は「読書＝つらい記憶＝本が嫌い」とインプットされてしまうそうです。また、ためになる本を読んでほしいところですが、興味のないジャンルの本を読むことは子どもにとって苦痛でしかありません。興味のある本を選ばせましょう。そして、子どもが本を読み終えたとき、本の感想を聞きたくりますが、ほんやり本の内容を思い出す程度でも今後のプラスになるといいます。まずは本を読んだことをほめてください。では、本を好きになってもらうにはどうすれば良いのでしょうか。

3つの方法をおすすめします。

1. 親子で図書館に行く習慣を身に付ける。
2. 図鑑から読み始める。
3. 子ども目線の本棚をつくる。

読書は本来、とても楽しいものです。その魅力が伝わるよう、親子のコミュニケーションを大切に、本を身近な存在にしましょう。



## ★冬休みの本の貸出しについて★

12月	11月28日	29日	30日	1日	2日
通常貸出	→				
5日	6日	7日	8日	9日	
返却期間	→				
12日	13日	14日	15日	16日	
		貸出期間			→
19日	20日	21日	22日	23日	
				→ 終業式	

※返却期間は12月5日から、貸出期間は14日からです。冬休みの本は1人3冊(1年生は2冊)まで借りることが出来ます。